

鶴岡未来づくり シンポジウム

鶴岡サイエンスパークと
地域内企業の連携を考える

参加
無料



2001年の開設以来、次々とベンチャー企業が誕生しスケールを拡大している鶴岡サイエンスパーク。2021年には地域企業との連携強化などを目的に「一般社団法人鶴岡サイエンスパーク」が設立され、地域全体の活性化に向けた体制づくりが進められています。

鶴岡商工会議所においても、地域企業とサイエンスパークとのつなぎ役となるべく連携体制の強化を進めております。

本シンポジウムでは、サイエンスパークが描く未来像と、鶴岡・庄内の明るい未来を熱く語りあいます。

日時 2023年3月22日(水)
14:00～16:30

会場 グランドエルサン

基調講演

鶴岡サイエンスパークの事業戦略
講師

(一社) 鶴岡サイエンスパーク
代表理事 富田 勝 氏

申込方法 QR/FAXより



パネルディスカッション

サイエンスパークと
地域内企業の連携を考える
～鶴岡・庄内を日本一おもしろい街に～

コーディネーター 富田 勝氏

パネリスト 鶴岡シルク(株)代表取締役
大和匡輔氏

Spiber(株)取締役兼代表執行役

関山和秀氏

(株)資生堂研究員

鴛淵孝太氏

ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ(株)

松田りら氏

鶴岡商工会議所会頭

上野雅史

参加申込書

事業所名

電話番号

参加者役職

参加者氏名

○講師／パネルディスカッションコーディネーター

富田 勝 氏

1957 年東京生まれ。慶應大学工学部卒業後、米カーネギーメロン大学に留学し、コンピュータ科学部で修士課程（1983）と博士課程（1985）修了。その後、カーネギーメロン大学助手、助教授、准教授、同大学自動翻訳研究所副所長 歴任。1990 年より慶應義塾大学環境情報学部助教授、教授、学部長を歴任。2001 年より慶應義塾大学先端生命科学研究所所長。

米国 National Science Foundation 大統領奨励賞（1988）、日本 IBM 科学賞（2002）、文部科学大臣表彰科学技術賞（2007）、大学発ベンチャー表彰特別賞（2014）、山形県特別功労賞（2017）、第 68 回河北文化賞（2019）、第 5 回バイオインダストリー大賞（2021）、第 27 回安藤百福賞大賞（2023）などを受賞。

「ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ（株）」を創業し、2013 年東証マザーズ上場。その後「Spiber 社」「サリバテック社」「メタジェン社」など、計 9 社の慶應鶴岡発ベンチャーを創業支援。現在、一般社団法人 鶴岡サイエンスパーク代表理事。

取得学位：Ph.D（情報科学）、医学博士（分子生物学）、工学博士（電気工学）、政策メディア博士（地方振興策）。

○パネルディスカッション パネリスト

大和 匡輔 氏

鶴岡市出身。明治薬科大学を卒業し、薬剤師免許を取得して日本チバガイギー株式会社（現ノバルティスファーマ）に入社。大学病院を担当する MR として勤務する。1993 年に帰省し、東福産業株式会社に入社。2002 年、同社代表取締役社長に就任。2010 年、鶴岡シルク「kibiso プロジェクト」の企画・販売等を行う事業会社として鶴岡シルク株式会社を設立し、代表取締役に就任（現職）。鶴岡織物工業協同組合の理事、鶴岡市総合計画企画専門委員などを務める。

関山 和秀 氏

Spiber 株式会社取締役兼代表執行役。東京都出身。現在は鶴岡市内に居宅を構え、四子の父でもある。2001 年慶應義塾大学環境情報学部入学。同年 9 月から先端バイオ研究室である富田勝研究室に所属。2002 年より山形県鶴岡市にある慶大先端研を拠点に研究活動に携わり、2004 年よりクモ糸の人工合成の研究を開始、これを事業化するため大学院に進学し博士課程在学中、2007 年に学生時代の仲間と共にスパイバー株式会社（現 Spiber 株式会社）を共同設立。現在は、持続可能な社会の実現に向け、原料を枯渇資源に頼らない構造タンパク質「Brewed Protein™素材」の産業化を目指す中、既に㈱ゴールドウイン、㈱資生堂などから商品化もされている。

篤淵(おしぶち) 孝太 氏

資生堂研究員。長崎県平戸市出身。九州大学大学院総合理工学府修了

慶応大学先端生命科学研究所と資生堂が「美」に関する様々なイノベーションを生み出せる人材の育成などを目指す包括連携協定を締結し、それに合わせ資生堂が社内公募を経て派遣した 2 人の社員のうちの 1 人。「美と生命科学と地方創生を掛け合わせる」（先端研の富田勝所長）研究などを通して新たな価値の創造を目指し、研究員として資生堂のミッションである「美の力でより良い世界を」（資生堂の魚谷雅彦代表取締役会長兼 CEO）をテーマに、肌と体、心の関係解明に関する研究に取り組む。「普通はゼロ点」とする富田所長の下、既存の考え方にとらわれない発想で、未来の事業を生み出そうとこの鶴岡で奮闘している。

松田 りら 氏

高校 2 年生から 3 年生までの 2 年間、慶應大学の先端生命科学研究所で高校生研究助手としてオイル産生微細藻類の研究を行う。その後、慶應義塾大学に進学、メタボローム解析を用いたイネの発芽に関する研究に取り組む。修士課程を修了後、ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社に入社し、現在は社会人博士学生として、慶應義塾大学大学院でメタボロームデータの統計解析に関する研究を行っている。

上野 雅史

鶴岡市出身。明治大学政治経済学部卒。

1980 年に荘内銀行に入行。東京支店長や人事部長等を歴任後、取締役役に選任される。

2016 年に代表取締役頭取。2020 年 4 月より取締役会長、2022 年名誉顧問。

2022 年 11 月、鶴岡商工会議所会頭に就任。